

学生生活支援プロジェクト
パックご飯を無償提供



パックご飯が無償で配られた
＝神田キャンパス

最近の米価高騰で経済的に苦しむ学生を支援しようと、パックご飯を学生3000人に無償で提供した。

学生生活支援プロジェクト（2025年度第1弾食料品等配布）として、4月25日と5月7日に実施。両日とも生田キャンパス900人分、神田キャンパス600人分を用意した。

会場は開始時間前から長い行列。1人あたり3パックが配布された。

1人暮らしの商学部1年次生は「実家から持ってきた米がなくなりそうなので助かった」と笑顔。法学部2年次生は「何もかも高くて、毎日切り詰めて生活している。さっそく今晚食べます」と話していた。経済学部1年次生は「店舗によっては米が品薄で買うことも難しいので

ありがたい」と述べた。

本学ではコロナ禍の21年に食料支援プロジェクトを開始した。自粛生活のなか、経済的支援が必要な学生に対し、食料品や衛生用品などを無償で配布。コロナ後も物価高騰の影響を受けている学生のために、支援を続けているほか、食料品以外にも生活用品の提供を行っている。支援品は校友会、育友会や教職員、卒業生が寄付・提供している。

学生部では、経済支援を行うだけでなく、学生のSDGsに対する意識改革、行動変容をめざし、SDGsの視点を加えた学生支援とし、名称を「学生生活支援プロジェクト」と改めた。25年度第1弾第1回（4月上旬実施）までで食料品等の配布を13回実施。延べ1万2525人

米高騰
学生をサポート



生田キャンパスの10号館1階には長蛇の列ができた

神田5号館を活用しよう！

自由な課外活動の場所に

お菓子を食べながら交流を深める学生たち



新入留学生を歓迎して開催された「囲む会」



校友会・育友会 主催
留学生を囲む会 2025



親睦を深める留学生たち

今年度から本学で学ぶ新入留学生を歓迎するさまざまなプログラムが4月12日、神田キャンパスで行われた。神田・生田で学ぶ正規留学生が参加し、学生生活のアドバイスや、学生生活の悩みを聞くとともに、日本人学生とも交流。日本及び専大での留学生活の疑問について、国際交流センター委員の先生方や先輩留学生、日本人学生らが丁寧に答えていた。

引き続き行われた校友会・育友会主催の「留学生を囲む会」には桃野直樹校友会長、溝田勝彦育友会長らも参加。参加者たちは食事をしながら親睦を深めた。

新入留学生を歓迎

神田キャンパス5号館1～3階の使用
方法が今年度から変わった。飲食可能な自由な課外活動の場所として活用できるほか、事前申請してスペースを貸し切りにすることもできる。

5号館の3階より下層は、階段状に小スペースが8カ所あり、公認・非公認問わず全団体・学生が借りることができる。時間は10時から19時45分。プロジェクトなどの貸し出しもある。

申し込み・問い合わせは5号館2階の学生生活課分室へ。



静かに自分の時間を過ごすことも



半地下のスペースで練習に励む書道研究会

書道研究会ではこれまで神田キャンパスでは練習場所がなかったが、今年度からはフロアにブルーシートを敷き、のびのびと作品に向き合うことができるという。

ほかにも新歓でお菓子を囲んで新入部員と交流するサークル、発表会に向けプロジェクトを使って内容をチェックするサークルなど使い方はさまざま。

一方、個人利用（予約不要）で静かに課題に取り組んだり、オンライン講座に参加したりする学生も多い。

このほか神田キャンパスでは10号館の一部教室、1号館地下の体育室も貸し出している。課外活動で大いに活用してほしい。

一エース専修

毎月1回15日発行
発行所
専修大学広報課
☎101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

- 学生に寄り添って 学生相談室・障がい学生支援室……………②
- 翻訳家きむふなさん（平16院文博）インタビュー……………③
- 学校法人専修大学 令和7年度事業計画・予算……………④
- 全学応援団の活躍を伝える 神田で写真展開催……………⑤
- 石巻専修大学 経営・李ゼミ味海苔を開発・販売……………⑦

専修大学
2026



「2026入学ガイド」完成

専修大学の学びの特徴、就職や資格取得の支援体制、入試情報などを掲載しています。本学ホームページからデジタルパンフレットの閲覧、資料請求ができます。



入学センターインフォメーション
◆神田キャンパス TEL 03-3265-6677
◆生田キャンパス TEL 044-911-0794